
令和元年度人権意識調査結果

～同和問題編～

～基本的人権が尊重されるために～

私たちは、かけがえのない、一人の人間として尊重され、また、幸せな生活を送りたいと思っています。

そして、日本国憲法では、この人間としての当然の願いである、侵すことのできない永久の権利として、「基本的人権」を保障しています。

しかし、現実には、日常生活のいろいろな面でいわれのない差別を受け、悩み苦しんでいる人々がいます。同和地区に生まれ育ったというだけで、本人の人柄とは関係もなく交際を避けられたり、結婚を取りやめられるというような問題を抱える人々がいるのです。

このように同和問題は基本的人権に関わる社会問題であり、一日も早く解決していくことが、私たち一人ひとりの課題なのです。

～同和問題（部落差別）とは～

同和問題とは、日本社会の歴史的過程で形づくられた身分差別に由来するもので、今なお、日常生活の上でいろいろな差別を受けるなど、我が国固有の人権問題です。

同和地区（被差別部落）に生まれ育ったということなどを理由とした不合理な偏見により、交際を避けたり、結婚を取りやめたりすることは差別であり、基本的人権の侵害に関わる重大な人権問題です。

（埼玉県発行「同和問題の解決をめざして」より）

1. 調査の概要

(1)調査の目的

人権に関する住民の意識の現況及び前回調査（平成 26 年度実施）結果からの動向を把握し、人権行政と人権教育の成果を図ることにより、人権尊重の視点に立った施策を総合的かつ効率的に推進するための基礎資料とし、もって「住民一人ひとりの人権が尊重される社会」が実現することを目的とする。

(2)調査の方法

調査対象者	18 歳以上の北足立郡内（13 市 1 町）に在住する市町民
対象人数	2,700 人
抽出方法	令和元年 9 月 1 日現在の住民基本台帳に基づく層化無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収、無記名回答
調査期間	令和元年 10 月 1 日から 10 月 31 日まで

(3)回収結果

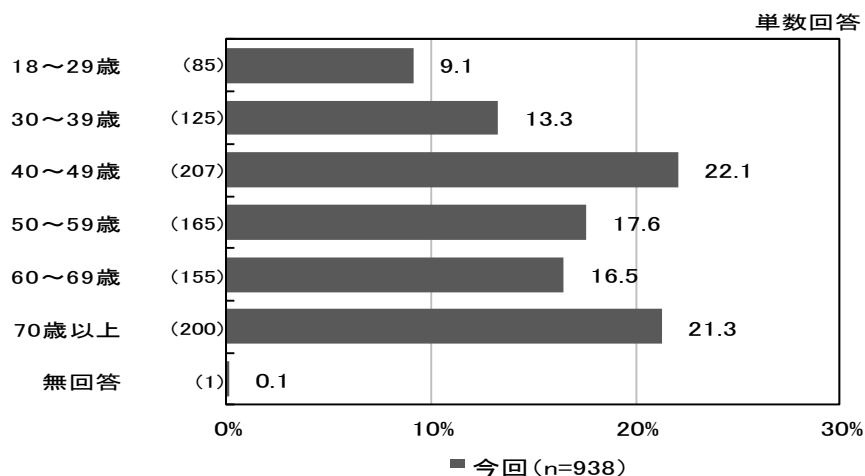
発送数	回収数	回収率
2,700	938	34.7%

(4)市町別抽出数

市：200 人×13 市=2,600、町：100 人×1 町=100、合計：2,700

2. 回答者の属性

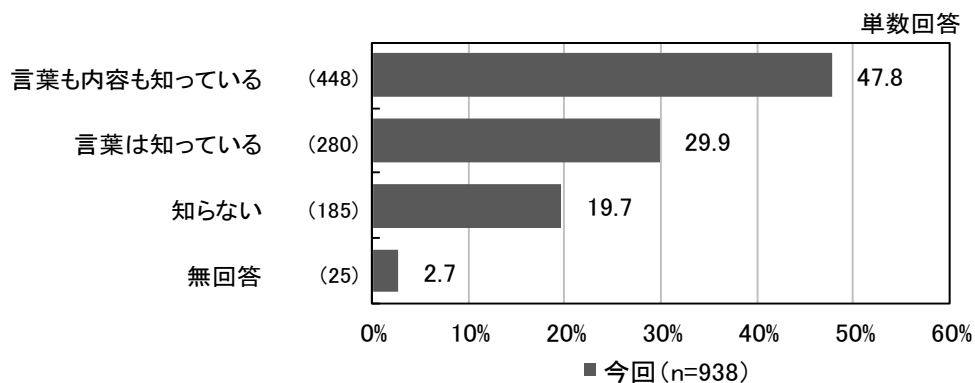
回答者の構成年齢は、「40～49 歳」が 22.1%で最も多く、次いで「70 歳以上」が 21.3%、「50～59 歳」が 17.6%と続いている。



3. 同和問題に係る調査結果の概要

- あなたは、同和問題について知っていますか。次の中から1つお選びください。

「言葉も内容も知っている」が47.8%で最も高く、次いで「言葉は知っている」が29.9%、「知らない」が19.7%と続いている。



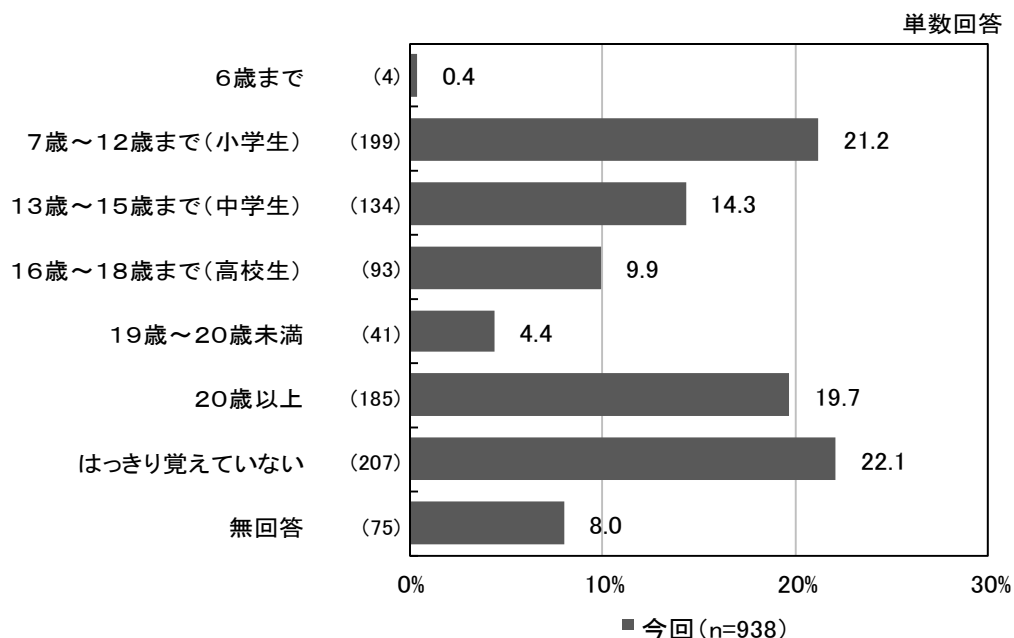
【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳で「知らない」、30歳以上で「言葉も内容も知っている」がそれぞれ最も高くなっている。また、18～29歳で「言葉も内容も知っている」は29.4%にとどまっている。

選択項目	年齢					
	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上
言葉も内容も知っている	29.4%	46.4%	43.5%	56.4%	53.5%	49.0%
言葉は知っている	21.2%	24.8%	35.7%	25.5%	29.7%	34.5%
知らない	48.2%	27.2%	20.3%	15.8%	15.5%	9.0%
無回答	1.2%	1.6%	0.5%	2.4%	1.3%	7.5%

- あなたが同和問題について初めて知ったのは、いつ頃ですか。次の中から1つお選びください。

「はっきり覚えていない」が22.1%で最も高く、次いで「7歳～12歳まで（小学生）」が21.2%、「20歳以上」が19.7%と続いている。



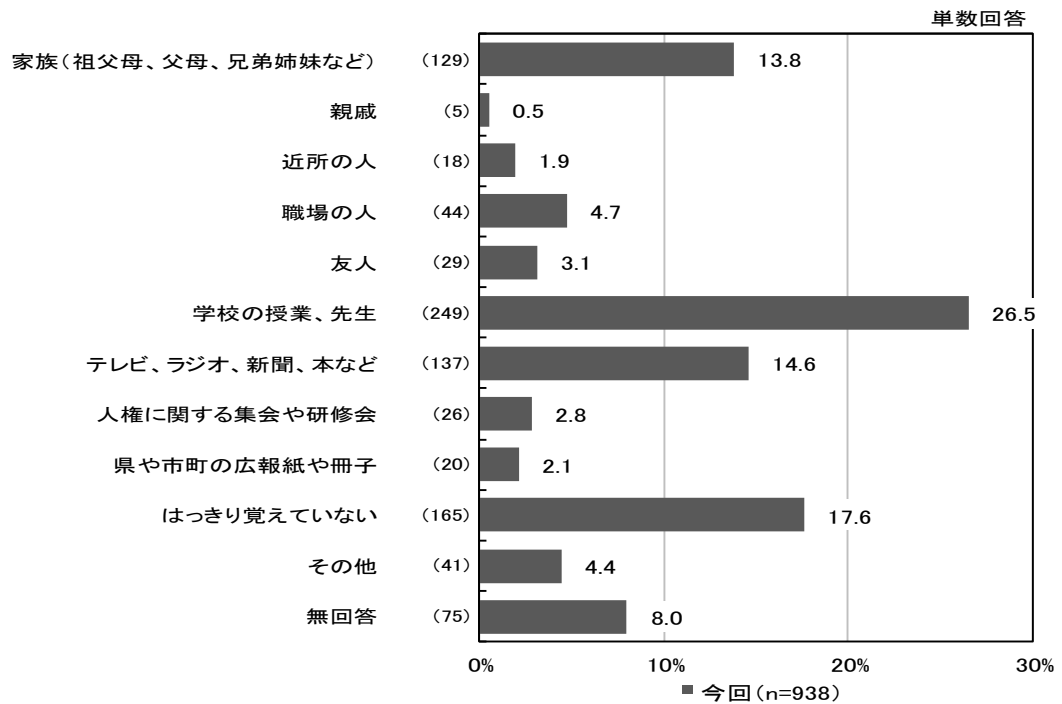
【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳で「はっきり覚えていない」、30～59歳で「7歳～12歳まで（小学生）」、60～69歳で「13歳～15歳まで（中学生）」と「20歳以上」、70歳以上で「20歳以上」がそれぞれ最も高くなっている。

選択項目	年齢					
	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上
6歳まで	0.0%	0.0%	0.5%	0.6%	0.0%	1.0%
7歳～12歳まで（小学生）	7.1%	30.4%	35.3%	28.5%	11.6%	8.5%
13歳～15歳まで（中学生）	11.8%	8.8%	12.6%	18.2%	20.6%	12.5%
16歳～18歳まで（高校生）	8.2%	5.6%	4.8%	7.3%	17.4%	15.0%
19歳～20歳未満	5.9%	1.6%	1.9%	4.2%	7.1%	6.0%
20歳以上	16.5%	23.2%	15.0%	17.6%	20.6%	24.5%
はっきり覚えていない	38.8%	20.8%	22.7%	17.6%	18.1%	22.0%
無回答	11.8%	9.6%	7.2%	6.1%	4.5%	10.5%

- あなたが同和問題について初めて知ったのは、誰(なに)からですか。次の中から1つお選びください。

「学校の授業、先生」が26.5%で最も高く、次いで「はっきり覚えていない」が17.6%、「テレビ、ラジオ、新聞、本など」が14.6%と続いている。



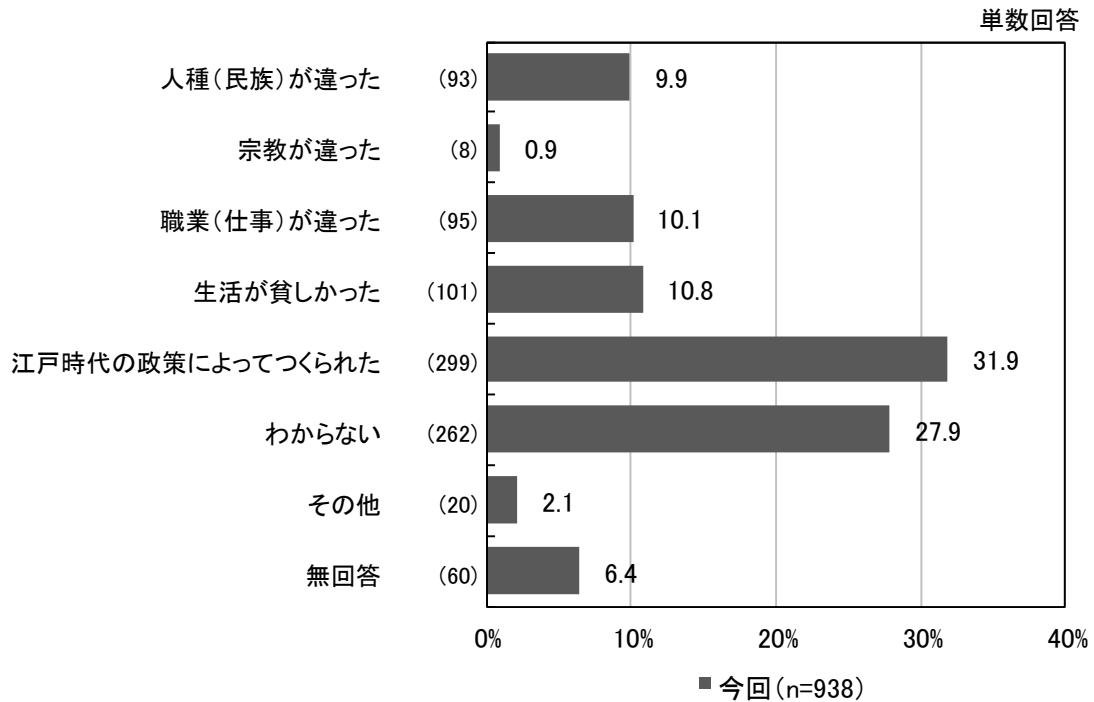
【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳で「はっきり覚えていない」、30～69歳で「学校の授業、先生」、70歳以上で「テレビ、ラジオ、新聞、本など」がそれぞれ最も高くなっている。また、「家族(祖父母、父母、兄弟姉妹など)」が60～69歳で21.3%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	年齢						
	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	
家族(祖父母、父母、兄弟姉妹など)	11.8%	3.2%	11.1%	17.6%	21.3%	15.0%	
親戚	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.3%	1.0%	
近所の人	0.0%	0.0%	1.0%	0.6%	3.9%	4.5%	
職場の人	0.0%	3.2%	2.4%	7.9%	4.5%	7.5%	
友人	0.0%	0.8%	1.4%	4.2%	3.9%	6.0%	
学校の授業、先生	21.2%	38.4%	40.6%	32.1%	21.9%	6.0%	
テレビ、ラジオ、新聞、本など	9.4%	11.2%	11.6%	12.1%	14.2%	24.5%	
人権に関する集会や研修会	2.4%	1.6%	0.5%	0.6%	5.2%	5.5%	
県や市町の広報紙や冊子	3.5%	1.6%	0.5%	1.8%	1.9%	4.0%	
はっきり覚えていない	30.6%	21.6%	17.9%	13.3%	14.2%	15.5%	
その他	8.2%	8.8%	5.3%	3.0%	3.2%	1.0%	
無回答	12.9%	9.6%	7.7%	6.1%	4.5%	9.5%	

- あなたは同和問題の起こりについて、どのように受けとめていますか。次の中から1つお選びください。

「江戸時代の政策によってつくられた」が31.9%で最も高く、次いで「わからない」が27.9%、「生活が貧しかった」が10.8%と続いている。



【年齢別】

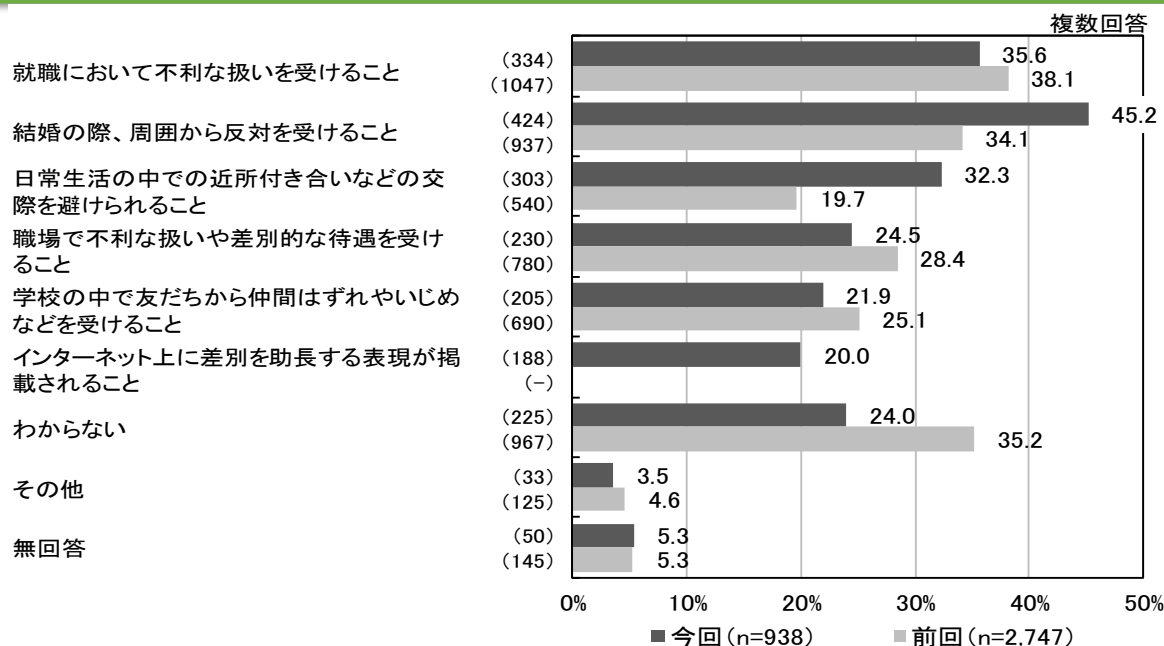
年齢別で見ると、18～49歳で「わからない」、50歳以上で「江戸時代の政策によってつくられた」がそれぞれ最も高くなっている。特に、18～29歳で「わからない」が43.5%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	年齢					
	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上
人種(民族)が違った	12.9%	10.4%	8.2%	7.3%	8.4%	13.5%
宗教が違った	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	1.9%	1.0%
職業(仕事)が違った	7.1%	4.8%	8.7%	6.1%	12.9%	17.5%
生活が貧しかった	7.1%	12.8%	13.0%	12.7%	14.2%	4.5%
江戸時代の政策によってつくられた	17.6%	28.0%	29.5%	43.0%	31.6%	33.5%
わからない	43.5%	35.2%	30.9%	24.2%	24.5%	19.5%
その他	2.4%	1.6%	2.9%	1.8%	2.6%	1.5%
無回答	9.4%	7.2%	5.3%	4.8%	3.9%	9.0%

- 同和問題に関する事柄で、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「結婚の際、周囲から反対を受けること」が45.2%で最も高く、次いで「就職において不利な扱いを受けること」が35.6%、「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」が32.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」が12.6ポイント増加、「結婚の際、周囲から反対を受けること」が11.1ポイント増加、「わからない」が11.2ポイント減少している。



※「インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること」の選択肢は、今回から新しく設けられた選択肢のため、前回の数値は記載されていない。

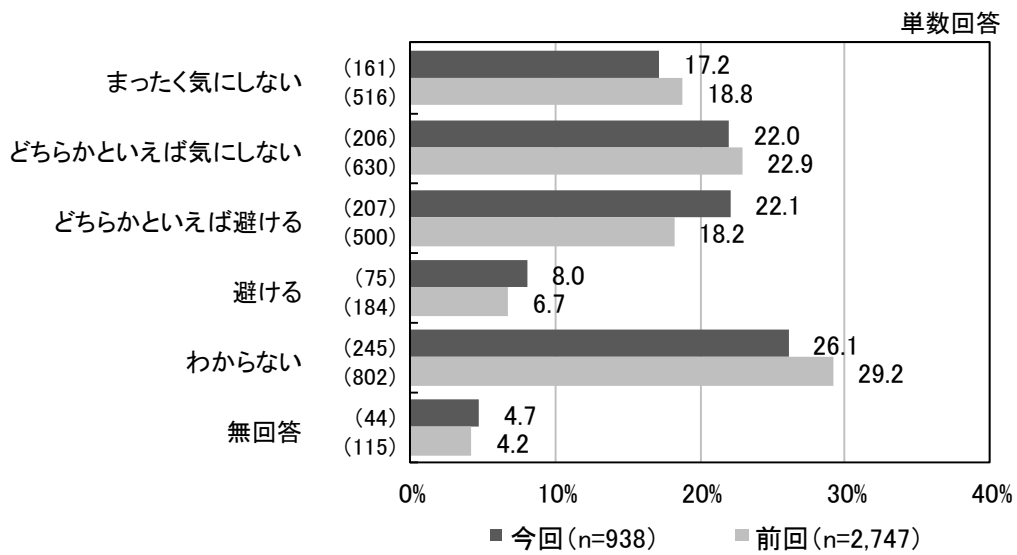
【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳で「わからない」、30歳以上で「結婚の際、周囲から反対を受けること」がそれぞれ最も高くなっている。また、40～59歳で「インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること」が20%台、70歳以上で「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」が37.5%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	年齢					
	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上
就職において不利な扱いを受けること	29.4%	37.6%	36.7%	32.7%	39.4%	35.0%
結婚の際、周囲から反対を受けること	30.6%	41.6%	44.9%	41.8%	52.3%	51.5%
日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること	22.4%	32.0%	32.4%	32.1%	31.0%	37.5%
職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること	31.8%	25.6%	27.1%	24.2%	18.7%	22.5%
学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること	14.1%	26.4%	25.6%	23.0%	16.8%	21.5%
インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること	18.8%	17.6%	25.6%	23.6%	17.4%	15.5%
わからない	36.5%	20.0%	23.7%	23.6%	26.5%	20.0%
その他	0.0%	2.4%	4.3%	5.5%	4.5%	2.5%
無回答	7.1%	6.4%	2.9%	3.6%	1.9%	10.5%

- あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けることがあると思いますか。次の中から1つお選びください。

「わからない」が26.1%で最も高く、次いで「どちらかといえば避ける」が22.1%、「どちらかといえば気にしない」が22.0%と続いている。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



【年齢別】

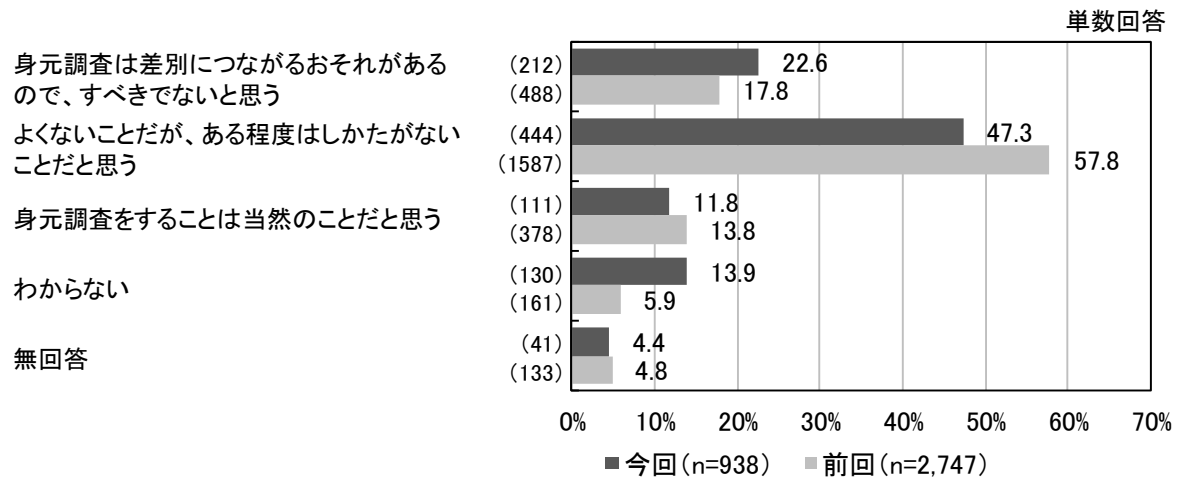
年齢別で見ると、18～29歳で「わからない」が45.9%、30～39歳で「まったく気にしない」が26.4%と他の年代に比べて高くなっている。その他の年代では、年代によって回答にばらつきが見られる。

選択項目	年齢					
	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上
まったく気にしない	12.9%	26.4%	16.9%	15.2%	16.8%	15.5%
どちらかといえば気にしない	21.2%	14.4%	19.3%	20.0%	25.2%	28.5%
どちらかといえば避ける	10.6%	18.4%	25.1%	26.7%	22.6%	22.0%
避ける	3.5%	10.4%	11.6%	8.5%	6.5%	5.5%
わからない	45.9%	24.8%	23.7%	26.1%	27.7%	20.0%
無回答	5.9%	5.6%	3.4%	3.6%	1.3%	8.5%

- あなたは、結婚や就職時の身元調査について、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が47.3%で最も高く、次いで「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」が22.6%、「わからない」が13.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「わからない」が8.0ポイント増加、「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が10.5ポイント減少している。



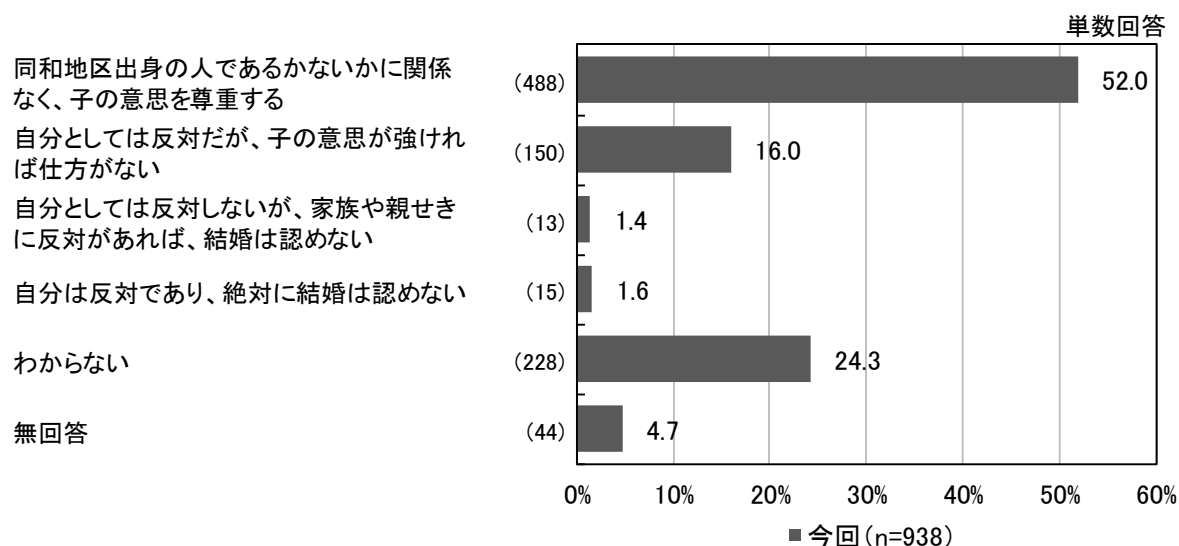
【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が最も高く、特に18～29歳と50～59歳で50%台と高くなっている。

選択項目	年齢					
	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上
身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う	15.3%	22.4%	28.5%	16.4%	26.5%	22.0%
よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う	50.6%	45.6%	45.4%	54.5%	47.1%	43.0%
身元調査をすることは当然のことだと思う	11.8%	11.2%	9.7%	12.1%	10.3%	15.5%
わからない	17.6%	14.4%	13.0%	14.5%	14.8%	11.5%
無回答	4.7%	6.4%	3.4%	2.4%	1.3%	8.0%

- あなたのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとした場合、あなたはどのように対応しますか。次の中から1つお選びください。

「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が52.0%で最も高く、次いで「わからない」が24.3%、「自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない」が16.0%と続いている。



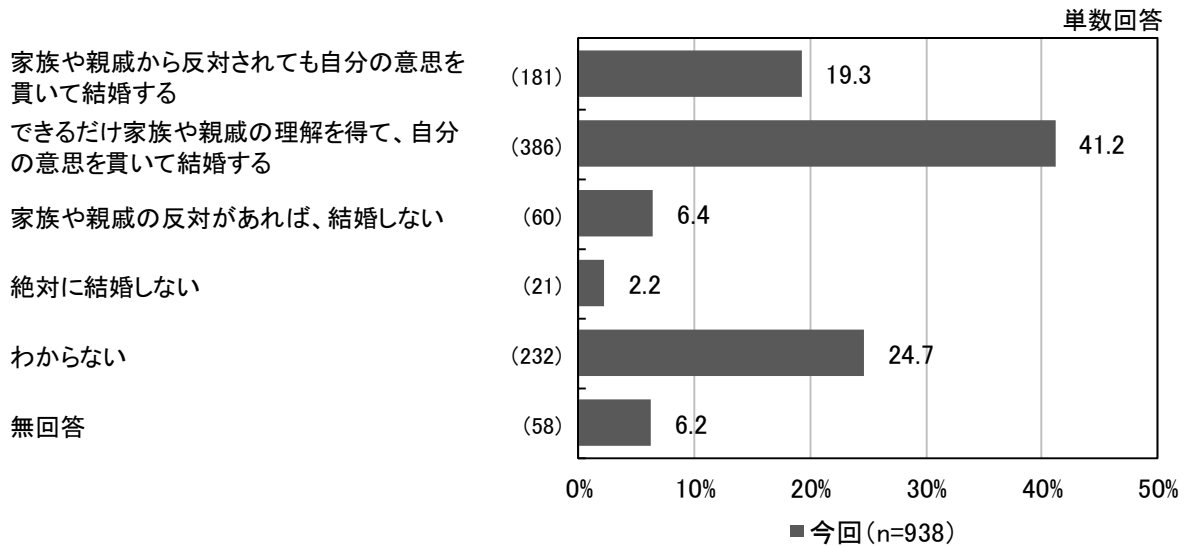
【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が最も高くなっている。また、「自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない」が70歳以上で24.5%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	年齢					
	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上
同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する	47.1%	59.2%	53.6%	46.1%	56.8%	49.0%
自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない	7.1%	13.6%	15.0%	14.5%	14.8%	24.5%
自分としては反対しないが、家族や親せきに反対があれば、結婚は認めない	0.0%	0.8%	1.9%	2.4%	1.9%	0.5%
自分は反対であり、絶対に結婚は認めない	1.2%	0.8%	2.4%	1.8%	1.9%	1.0%
わからない	37.6%	20.8%	24.2%	31.5%	23.2%	16.0%
無回答	7.1%	4.8%	2.9%	3.6%	1.3%	9.0%

- あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であるとわかった場合、あなたは
どうされますか。次の中から1つお選びください。

「できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が41.2%で最も高く、次いで「わからない」が24.7%、「家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する」が19.3%と続いている。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が最も高く、特に30～49歳で40%台と高くなっている。また、「わからない」が18～29歳で36.5%と他の年代に比べて高くなっている。

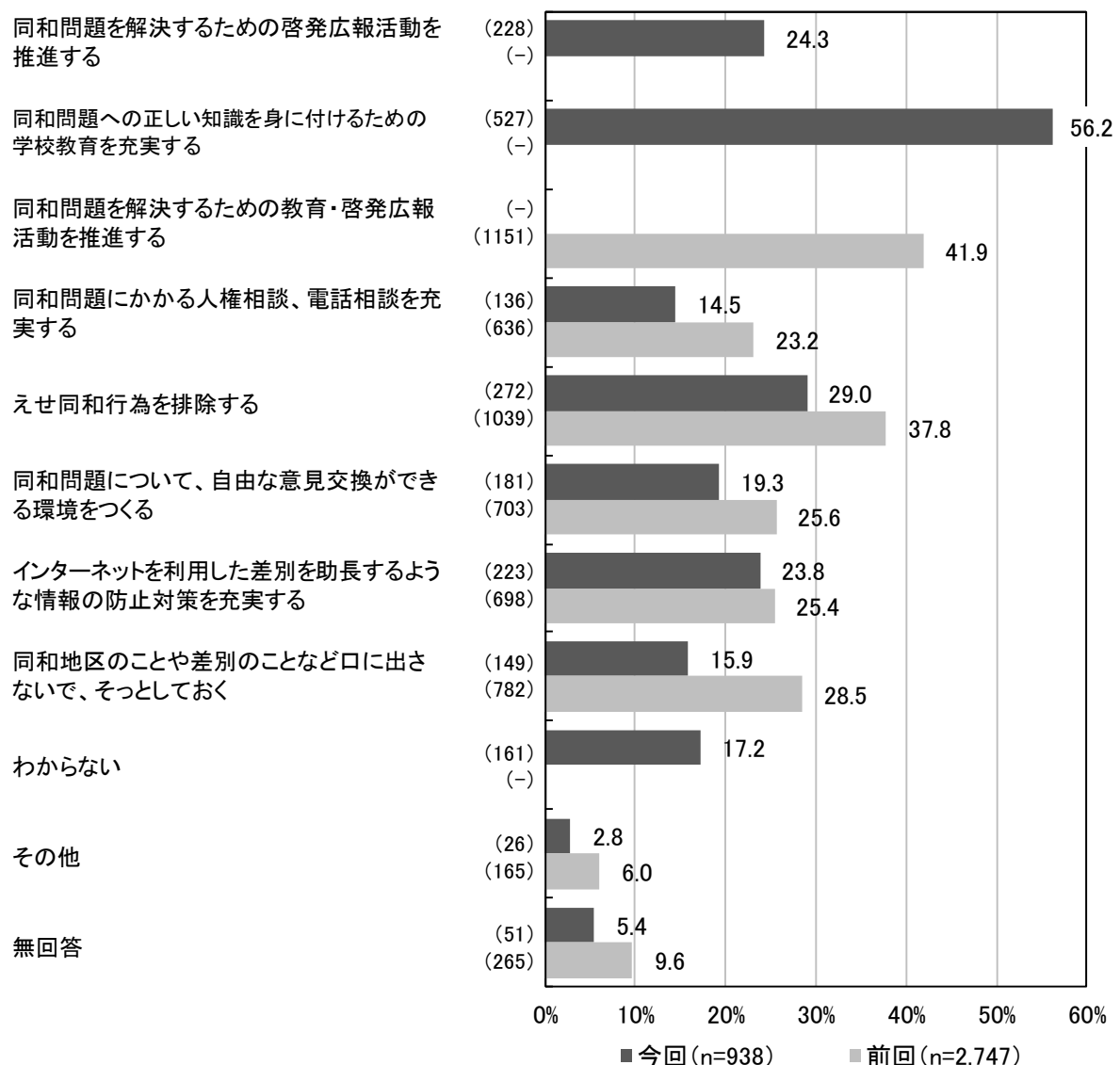
選択項目	年齢					
	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上
家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する	15.3%	21.6%	18.8%	21.8%	23.2%	15.0%
できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する	38.8%	48.8%	46.4%	37.6%	36.8%	38.0%
家族や親戚の反対があれば、結婚しない	1.2%	1.6%	5.8%	8.5%	5.8%	11.0%
絶対に結婚しない	1.2%	1.6%	2.4%	2.4%	3.2%	2.0%
わからない	36.5%	22.4%	21.3%	25.5%	26.5%	23.0%
無回答	7.1%	4.0%	5.3%	4.2%	4.5%	11.0%

- あなたは、同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が56.2%で最も高く、次いで「えせ同和行為を排除する」が29.0%、「同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する」が24.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく」が12.6ポイント減少、「えせ同和行為を排除する」が8.8ポイント減少、「同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する」が8.7ポイント減少、「同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる」が6.3ポイント減少している。

複数回答



※「同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する」と「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」の選択肢は、前は「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」となっているため、今回は別々に掲載している。また、「わからない」の選択肢は、今回から新しく設けられた選択肢のため、前回の数値は記載されていない。

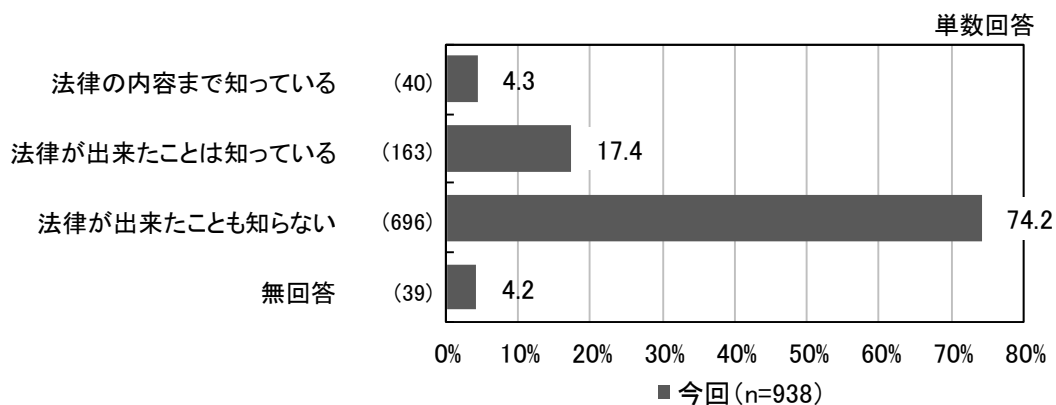
【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が最も高く、特に40～49歳で61.8%と高くなっている。また、「えせ同和行為を排除する」が40～69歳で30%台、「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」が50～59歳で30.3%、「わからない」が18～29歳で32.9%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	年齢					
	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上
同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する	15.3%	21.6%	23.2%	23.6%	25.8%	30.0%
同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する	51.8%	58.4%	61.8%	56.4%	55.5%	51.0%
同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する	14.1%	16.0%	14.5%	11.5%	17.4%	14.0%
えせ同和行為を排除する	18.8%	22.4%	31.4%	39.4%	32.3%	24.0%
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	10.6%	12.0%	16.4%	12.1%	22.6%	33.5%
インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	16.5%	20.8%	24.2%	30.3%	28.4%	19.5%
同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく	11.8%	13.6%	14.0%	11.5%	19.4%	22.0%
わからない	32.9%	18.4%	14.5%	15.8%	15.5%	15.0%
その他	1.2%	4.0%	4.8%	2.4%	0.6%	2.5%
無回答	7.1%	4.8%	4.3%	3.6%	3.2%	9.5%

- 平成28年12月に、「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存知ですか。次の中から1つお選びください。

「法律ができたことも知らない」が74.2%で最も高く、次いで「法律ができたことは知っている」が17.4%、「法律の内容まで知っている」が4.3%と続いている。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「法律ができたことも知らない」が最も高く、特に30～59歳で80%台と高くなっている。

選択項目	年齢					
	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上
法律の内容まで知っている	2.4%	5.6%	4.3%	4.2%	5.8%	3.0%
法律ができたことは知っている	22.4%	6.4%	9.2%	10.9%	23.2%	31.5%
法律ができたことも知らない	74.1%	86.4%	82.6%	81.8%	67.7%	56.5%
無回答	1.2%	1.6%	3.9%	3.0%	3.2%	9.0%

『部落差別の解消の推進に関する法律』について

制定の背景

同和問題（部落差別）の解決に向け、昭和44年以来33年間の特別措置法により、国や地方公共団体のさまざまな取組の結果、同和地区（被差別部落）における生活環境の改善をはじめとする物的基盤の整備が進みました。

しかし、現在もなお、同和地区出身であることや同和地区に住んでいることを理由に、結婚や交際を反対される、就職の際に不利な扱いを受けるなどの差別があり、近年では、インターネット上において、差別的な書き込みがされたり、特定の地区が同和地区として掲載されたりという新たな問題も起きています。

このような状況を踏まえて、平成28年12月、部落差別のない社会の実現を目的とする「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。

基本理念

部落差別の解消に関する施策は、すべての国民が等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであるとの理念にのっとり、部落差別を解消する必要性に対する国民一人一人の理解を深めるよう努めることにより、部落差別のない社会を実現することを旨として、行われなければならない。

内容

国及び地方公共団体は、部落差別の解消に関する施策を講じること

国及び地方公共団体は、部落差別に関する相談体制の充実を図ること

国及び地方公共団体は、部落差別を解消するため、必要な教育及び啓発を行うこと

国は、部落差別の実態に係る調査を行うこと

ま と め

今回の人権意識調査では、北足立郡内において、同和問題（部落差別）の起源について「人種（民族）が違った」などと誤った認識を持つ人、同和地区や同和地区出身者を避ける意識を持つ人、差別につながる身元調査を容認する人が一定程度いることなどが明らかになりました。

わたしたち一人ひとりが同和問題について正しく理解し、同和問題の解決に向けて行動することが大切です。北足立郡内の市町では、引き続き、そのための教育・啓発に取り組んでいきます。